

目 次

はじめに.....	1
1. ロンドン条約 96 年議定書をめぐる動き	3
1－1 ロンドン条約 96 年議定書の概要	3
1－2 世界的な海洋投棄の現状とわが国の位置付け	3
2. わが国における廃棄物等の海洋投入処分管理等の現状.....	5
2－1 ロンドン条約に対応した国内制度の概要	5
2－2 廃棄物の海洋投入処分に関する従来からの取組	7
3. 今後の廃棄物等の海洋投入処分等の在り方に係る基本的考え方.....	7
3－1 96 年議定書締結に向けての基本的考え方	7
3－2 附属書Ⅰへの対応	8
3－3 附属書Ⅱへの対応	9
4. 廃棄物等の海洋投入処分実態等の概要とその評価.....	10
4－1 一般廃棄物	11
(1) 廃火薬類.....	11
(2) 不燃性一般廃棄物	12
(3) 浄化槽に係る汚泥・し尿	13
4－2 産業廃棄物	13
(1) 赤泥.....	13
(2) 建設汚泥.....	14
(3) 動植物性残さ（梅漬調味廃液）	14
(4) 家畜ふん尿.....	14
(5) その他.....	15
4－3 水底土砂.....	15
5. 今後の廃棄物等の海洋投入処分管理制度の在り方.....	16
5－1 制度の基本骨格についての考え方	16
(1) 海洋投入処分許可の申請主体.....	16
(2) 海洋投入処分許可の審査主体.....	16
(3) 市民関与の在り方	17
(4) 許可の有効期間	17
5－2 附属書Ⅱが求める仕組みへの対応の考え方	17
(1) 廃棄物抑制審査等	17
(2) 行動基準.....	18

(3) 排出海域の選択	19
(4) 排出方法	21
(5) 潜在的影響の検討等	21
(6) 監視	23
(7) 許可の見直し・更新制度	24
5－3 その他の必要な措置	24
おわりに	26

参考資料1	ロンドン条約及びロンドン条約 96 年議定書の概要
参考資料2	1990 年代の主要国海洋投入処分実施状況
参考資料3	廃棄物等の海洋投入処分に関する現行制度
参考資料4	各廃棄物等の海洋投入削減に向けた取組等の状況
参考資料5	市民関与の考え方
参考資料6	海洋投入処分の継続が予想される品目等のわが国における判定基準の設定状況と追加設定の必要性に関する検討